



こんにちは！ 名寄市長 加藤剛士です

このコーナーは、Airてっし(エフエムなよろ)との共同企画で、テーマを市長が設定し、本誌ではコラムとして、Airてっしではパーソナリティー伊藤美和子さんとの対談で放送いたします。

Vol.7



「きたすばる」グランドオープン ～民・官一体となった「名寄市」の営業を～

4月になり、春の息吹があちこちで感じられるようになりました。新入学、就職、あるいは職場での異動など、新たな節目となる方も多いのではないのでしょうか。市民の皆さまにとって、輝かしいスタートとなりますことをご祈念申し上げます。

名寄市もいよいよ新年度のスタートであります。私も市政を担わせていただき、ちょうど1年が経過しました。これまでの歩みを振り返りつつ、「明るく元気な名寄市」のため、市民の皆さまとともに一層の努力をしております。

さて、本年は名寄を大きく内外に売り込む絶好の機会です。その材料は大きく2つあり、一つは名寄市を舞台にした映画「星守る犬」の全国上映、もう一つはその題材となった名寄市の「星」「ひまわり」の発信です。まずは、その星の象徴であるなよろ市立天文台「きたすばる」の北海道大学が設置した口径1.6m、国内最大級の望遠鏡が4月29日(祝・金)に一般公開され、天文台が「グランドオープン」することになりました。この日から5月8日(日)までのゴールデンウィークを「グランドオープン期間」と位置付け、内外に広く天文台の存在、名寄市の存在を発信し、たくさんのお客様に来ていただきたいと考えています。天文台は期間中、毎日午前中からの開館を予定しており、プラネタリウムでの新作番組の上映や天文に関する各種イベントはもちろん、音楽コンサートなども開催予定です。また、民間の青年団体を中心に、天文台に来館されたお客様を飽きさせないイベントも道立サンピラーパーク内を中心に盛りだくさんの予定です。各種ものづくり体験、映画「星守る犬」に関するイベント、フードコーナーなど……。今後のお知らせにご期待ください。

名寄市民でも意外と天文台を知らない、あるいはまだ天文台に行ったことがない、という方が多いようです。このグランドオープンを機会に、名寄市が北海道や日本に誇れるこのすばらしい財産を市民のみなさんに広く知ってもらい、みんなで名寄市の天文台を、「星」を発信できればと考えておりますので、市民の皆さんもぜひ天文台に足を運んでください。

さて、4月から庁内組織を見直し「営業戦略室」を新設しました。民間企業にあって行政になかった部門、これが「営業」だと思います。これからの地方分権、地域主権社会の中で、地域間の競争はますます激しくなることが予想されます。今後は、まちを「営業」する発想が非常に重要になり、庁内一丸となってあらゆる分野で名寄を大きく売り込んでいくことはもちろん、民と官が一体となってあらゆる可能性を模索し、知恵を出し合い、目標に向かって営業を推し進めていかなければならないと考えております。

今回のグランドオープンに係る取り組みが、まさに「協働のまちづくり」「民と官が一体となった営業活動」の一つのきっかけづくりになりますので、市民の皆さんには、より多くの関心を持っていただきますとともに、積極的に参加していただき、地域全体でイベントを盛り上げましょう！

※この企画のAirてっしでの放送時間は、毎月1日と10日の午前と午後の予定。土・日・祝日のときは、その翌日の放送となります。



「名寄市からのお知らせ」を放送中
市からのお知らせやイベント情報などを紹介しています。

放送＝毎週月～金曜日 ① 8:10から ② 12:30から ③ 17:10から